



説明会 / 採用情報



あなたの知識が「働く」を守る力に

労働基準監督官OPENゼミ

労働基準監督官は、労働基準法令に基づきあらゆる職場に立ち入り、事業主に対し法定基準を遵守させることにより労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図ることを目的とする厚生労働省の専門職員(国家公務員)です。労働基準監督官は、工場や建設現場等にも立ち入るため、機械、電気、化学、土木、情報など理工系の方も積極的に採用しています。

- 開催日
- 内容
- 場所
- 対象
- お申し込み

2026年7月23日(木) **対面&オンライン** 13:30~15:30

※ 対面では実地で、オンラインではバーチャルで職場見学を実施します。

監督官の仕事、監督官とのフリートーク、職場見学など
WEB : https://jsite.mhlw.go.jp/wakayama-roudoukyoku/home/20130122_00009.html

和歌山労働局 2階会議室 (和歌山市黒田2-3-3和歌山労働総合庁舎)

社会人、大学生、大学院生、短大・高専生、高校生等
高校生以上の方ならどなたでも参加できます。既卒者・社会人の方も大歓迎！
理系・文系を問わず参加できます。(理系向け・文系向け、両方の説明をします。)

和歌山労働局 監督課 電話 : 073-488-1150
※メールでも申し込みます。 ✉ kantokuka-wakayamakyoku@mhlw.go.jp

※現地参加のほか、オンライン参加では全国どこからでも視聴できます

モノは作らないけれど・・・

モノを作る人たちを守る仕事です

世の中にある便利なモノは、どれも誰かが作ったもの。
良いモノ作りは、安全で適正な労働条件があってこそ。
そんな働く人たちを守り、支えるのが私たちの仕事です。



専門知識を活かした災害防止指導、法令や安全衛生対策の説明会、
労働条件の立入調査、司法警察権限の行使…日々これらを積み重ねて
職場の労働環境を向上させ、働く人々の「安全・安心」に繋がります。

どういう人が監督官になっていますか？

法文系や理工系など幅広い学部・専攻の方が、監督官になっています。工場や建設現場等あらゆる職場に立ち入るため、機械・電気・化学・土木・情報など理工系の方も積極的に採用しています。最近では、健康・医療関係学部・専攻の方の受験も増えています。また、学卒者だけでなく民間企業・官公庁等の社会人経験者など、多様な人材が活躍しています。

採用後のキャリアパスは？ 研修制度はどうなっていますか？

採用後1年間は、原則として採用労働局の労働基準監督署に配属され、法律知識の有無にかかわらず約2か月間の中央研修の受講や、第一線での業務を通じて、関係法令や必要な専門知識を習得します。また、その後の勤務においても、キャリアに応じた中央研修が行われます。所定のキャリアを重ねた後は、労働局・監督署の幹部職員として、業務計画の立案や組織運営にも携わっていくこととなります。

監督官の仕事の魅力は？（先輩の声）

相談対応や事務作業といった内容だけでなく、工場や建設現場等に立入調査を行ったり、法律の周知のための説明会を開催したりと業務内容が多岐にわたりますので、日々、様々な刺激を得ることができるのも、この仕事の魅力だと思います。



理系人材として学んだ知識・経験が、中身のある深い指導に繋がり、働く方の安心・安全な環境づくりに確実に貢献できている実感があり、日々の仕事に大変満足感があります。

指導のために様々な企業に赴きますが、その中で自分たちの身近な物や建物、船などがどのような製造工程で作られているのかなど、会社の裏側を知ることができることは、他の仕事には体験できない魅力だと思います。



——— 続きは OPENゼミで！ご来場をお待ちしています ———

他の労働局の説明会に参加希望の方は、「労働基準監督官採用試験」→「これから受験をお考えの方へ～労働基準監督官業務説明会～」にある「開催労働局・開催日時一覧」をご確認の上、各開催労働局へ直接お申し込みください。



労働基準監督官
採用試験